

地域再生計画（地方創生汚水施設整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	佐賀県 みやき町	地域再生計画名	「住んでよかったみやき町」プロジェクト～ふるさと水環境・住環境再生計画
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	みやき町事業部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価
		基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数	
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理施設の整備の促進 汚水処理人口普及率13.5%の向上	68.6%	H27	78.6%	H30	76.9%	82.1%	R2	×	中間目標値を1.7%（441人）下回っているが、これは工事進捗状況に若干の遅れがあったことと浄化槽事業の進捗状況が思うように進んでいないことが主な要因であり、これから目標達成に向けて努力する。 町全体で定住促進に取り組んでいることにより、目標人口より199人の増となり中間目標を達成した。 宅地開発も定住促進の一環で取り組んでおり、目標の2倍以上の実績となり中間目標を達成した。
	指標 2	町内定住人口の減少幅の抑制 平成32年度末の目標人口を25,309人	25530人	H27	25397人	H30	25,596人	25,309人	R2	○	
	指標 3	宅地開発の促進 年間宅地開発件数25件の向上	30件/年	H27	45件/年	H30	108件/年	55件/年	R2	○	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度（R1）	最終実績見込み						
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（整備延長）		17,540m	5,883m	15,034m	当初計画に対し、整備延長から見る進捗率は33.5%と遅れが伺えるが、これは土質状況等により推進工事が思うように進まず、全体の整備状況に影響したため、引き続き計画に則した整備をめざしていく。					
	特定環境保全公共下水道事業（整備延長）		13,700m	3,206m	10,023m	当初計画に対し、整備延長から見る進捗率は23.4%と遅れが伺えるが、これは土質状況等により推進工事が思うように進まず、全体の整備状況に影響したため、引き続き計画に則した整備をめざしていく。					
	浄化槽（設置基数）		772基	266基	564基	当初計画に対し、設置基数から見る進捗率は34.5%と遅れが伺えるが、PFI事業による広報活動や営業力不足により住民への十分な理解が得られていないこと等により、設置基数が目標に及ばなかった。引き続きPFI事業により、計画に即した整備を目指していく。					
その他の事業											
計画外で独自に実施した事業	定住促進対策浄化槽設置補助金					個人設置型浄化槽の設置者に対し、一律20万円を上乗せして補助しており、定住促進及び水洗化の底上げに寄与している。					
	定住促進奨励金制度					転入又は転居に伴い住宅を新築、または中古住宅を購入された人のうち、3年以上住むことを前提に奨励金を支給している。子育て世帯や地区によっては加算金を設けている。					
	空き家バンク登録制度					本町における住宅の取得を支援するための空き家バンク登録制度 町内に存在する空き家の有効活用を通して、コミュニティ機能の維持及び定住促進による地域の活性化を図るため、空き家情報をホームページ等に掲載し、空き家所有者と利用希望者の橋渡しをしている。					
④評価方法	下水道推進協議会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。（R1.8）										
⑤中間評価の公表方法	みやき町ホームページに掲載予定										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、公共下水道事業及び浄化槽の一体的な整備を行うことにより、生活排水の適正な処理の推進を図り、インフラ整備の充実化により住民の快適な生活の実現とUターンやIターン定住の促進を目的としている。指標1の汚水処理人口普及率について、僅か目標達成していないが、これからは面整備に入っていくので最終目標は達成するものと考えている。町全体で定住促進に取り組んでいるので、人口減の抑制や開発件数は目標達成できるものと考えているので、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく。										
⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容					
	地域再生計画の見直し（ <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無） 令和2年度予算要望額への反映（ <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無） 有りの場合の増減額 $\Delta 93,070$ 千円					この計画で処理場の5,6系列の整備を行う予定であったが、管渠整備が進まなかったため、汚水量が伸びず5系列の増設のみで完了する見込みである。そこで、管渠整備を進め、6系列の増設を行うため、事業期間を2年延伸する。 ポンプ場の建設を予定していたが、再度検討を行った結果、人口減少等に伴う汚水量の減により、マンホールポンプでの対応が可能となったため、事業費及び整備を減らしたい。					
⑧今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ●事業期間延長計画の変更の認定申請を予定（H28～R2 ⇒ H28～R4の2年延伸） ●公共下水道及び浄化槽の整備事業量、事業費の見直し ○公共下水道 <ul style="list-style-type: none"> ・整備事業量 認定時31,240m ⇒ 変更なし ・令和2年度の事業費 認定時1,253,650千円 ⇒ 見直し後1,130,000千円[123,650千円（うち交付金61,825千円減）] ・総事業費 認定時4,797,000千円 ⇒ 変更なし ○浄化槽 <ul style="list-style-type: none"> ・整備事業量、総事業費については変更しないが、2年延伸しPFI事業で計画目標に向かって努力する。 ・令和2年度の事業費 認定時160,468千円 ⇒ 見直し後143,518千円[16,950千円（うち交付金31,245千円減）] 										